

く る め し 久留米市に 住 っ て い る 外国人の みなさんへ

生活ガイドブック

に ほ ん ご
やさしい日本語



CONTENTS

1. 困ったときに
相談するところ
2. 外国人 住民 の
住民 登録について
3. 税金について
4. 年金について
5. 健康保険・介護保険について
6. 子どもについて
7. ごみの出し方について
8. 水道の利用について
9. 災害や、避難所について
10. もしものときに
知っておくこと

■久留米市に ようこそ！

このパンフレットは、生活に必要なことを「やさしい日本語」で書いています。言葉が難しいときは、Google翻訳であなたの国の言葉に変えて読んでください。

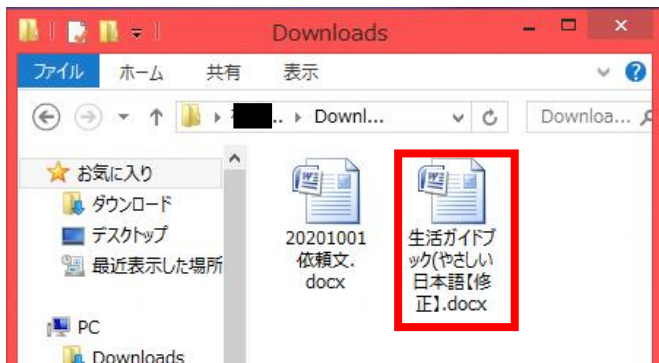
■Google翻訳の使い方（パンフレットを 翻訳する 方法）

【日本語→ネパール語】

1. 久留米市の ホームページで 生活ガイドブックの データを ダウンロード(download) してください。
2. Google 翻訳を 開けて、①[ドキュメント] を お 押してください。
- ②[言語を検 出 する] を お 押して、日本語を 選んでください。
- ③[訳 文] を お 押して、ネパール語を 選んでください。
- ④変えたい 言葉が ないときは 「▼」 を お 押してください。そして 変えたい 言葉を 選んでください。
- ⑤[パソコンを参 照] を お 押してください。



3. 生活ガイドの PDF ファイルを 選んでください。
4. [翻 訳] を お 押してください。



5. あなたが 選んだ 言葉で パンフレットを 見る ことが できます。

2. 外国人住民の 住民登録について

■相談先：市民課

電話：0942-39027

外国人も 日本人と 同じように 住民票を 作って *住民登録します。
住民登録をすると 久留米市の サービスを 受けることが できます。 また、住所（住むところ）を 証明 する 住民票の写しを もらえます。

*住民登録：あなたや あなたの家族が 久留米市に 住んでいることを 市役所に 知らせること

■住民登録を する人

3か月より 長く 日本に 住む人は 住民登録を します。 観光（日本に 遊び）に 来た人は 住民登 録を しません。

1. 久留米市に する *届出

下の 表の 状況に 当てはまる人は、 市役所に 届出を出します。
届出を 出すのは、 あなたが します。 あなたが できないときは、 代わりの人も できます。
代わりの 人が 届出を 出すときは 委任状（あなたが 代わりの人に お願ひしたことが わかる紙）が あります。

*届出：市役所に あなたの 状況が かわったことを 紙に 書いて 知らせること

【市民課での 届出が 必要な 手続き】

届出の名前	状況	手続きの 費用	手続きに いるもの
-------	----	---------	-----------



2. विदेशी निवासीहरूको निवासी रेजिष्ट्रेशनको बारेमा
Ation परामर्श: नागरिकको डिभिजन
फोन: ० 42 42२--390 27 २27

साथै छोका जी तपाईंको लागि म = हुँ ।
र गर्न को सेवा गर्न लात मार हुन तपाईं । मा बाहेक, (को Mutokoro) गर्न को को थि म प्राप्त ।

* : तपाईं र तपाईंको छुन् दुई Nde हुन् भनेर दुई एट अत। हुन

■ को लागि

3 वा देखि कू गर्न कुनै दौत गर्न तपाईं । (गर्न सुंदरता) अन्य छ एक छैन।

1. गर्न हुन =

को को लागि फिट ते छ दुई र गर्न तपाईं।

यो गर्न को छ, Atana छ तपाईं । तपाईं सम्जुनुछ यदि तपाईं सम्जुनु भने, बारि तपाईं पनि सम्जुनुछ।
Wari गरेको छ को BE मामला (तपाईं को Wari गर्न तपाईं बाहो राम्रो थियो बुझे तपाईं एक अवस्थित)।

* : गर्न तपाईंको परिवर्तन भएको थियो कि दुई छ अत यसलाई

[मा भएको को के राजा]

को	जाउनुहोस् को	जो हुन सक्छ
----	--------------	-------------



1. 困ったときに相談するところ

がいこくじんそうだんまどぐち
外国人相談窓口 TEL: 0942-30-9096

結婚・離婚(結婚をやめるとき)、税金のこと、家族の問題、お金の問題、交通事故、仕事、在留資格(ビザ)のこと、外国人だからいじめられているなど、あなたが日本で生活するときに困っていることや、わからないことがあるとき相談することができます。お金はいりません。

あなたが相談することを、弁護士や行政書士など専門の人にきいてもらうこともできます。

■相談する日：月曜日 から 金曜日

(年末年始(12/29~1/3)と祝日(カレンダーの赤い字の日)は休みです)

■相談する時間：8時30分~17時15分(昼休みは ありません)

■相談するところ：久留米市役所 6Fの 広聴・相談課です。

『外国人相談窓口 (Kurume Multilingual Consultation Support Service)』

■相談する方法：①から④の方法があります。

①外国人相談窓口 に 相談に 行く

②電話で 相談する … TEL: 0942-30-9096

③ファックスで 相談する … Fax: 0942-30-9711

④メールで 相談する … E-mail: sodan@city.kurume.lg.jp

『市役所』のこと

あなたが 住んでいる 市には 市役所があります。

住む 場所が かわったり、生活が かわったりしたら 市役所に 必ず 知らせてください。そのとき 在留カードも 出してください。生活で わからないことや 困ったことが あったら、市役所で 相談できます。

『校区』のこと

みんなが 安心して 生活する ために 市役所が いろいろな サービスを します。小学校の 名前で 久留米市を 分けています。それを 『校区』と 言います。市役所の サービスは、『校区』で 決まります。あなたが 久留米市に 住むときは 校区の 名前を 覚えてください。

たとえば：『金丸小学校』がある所 … 『金丸校区』
『西国分小学校』がある所 … 『西国分校区』 などです。



2. 外国人住民の 住民登録について

がいこくじん じゅうみん じゅうみん とうろく
しみんか 市民課 TEL: 0942-30-9027

外国人も、日本人と同じように住民票を作^{つく}って、*住民登録をしなければなりません。
住民登録を^{じゅうみんとうろく}すると、く^{くる}めし^{めし}市の^しサービス^{さーびす}を受けることが^うできます。そして住所^{じゅうしょ}（住^すむところ）
を^{しょうめい}証明する^{じゅうみんひょう}住民票^{うつ}の写し^{こピー}（コピー）を^{もら}うことが^{でき}ます。

*住民登録：あなたやあなたの家族^{かぞく}が、く^{くる}めし^{めし}市に^す住んでいることを^{しやくしょ}市役所^しに^し知らせること

■ 住民登録をする人

3 か月より長^{なが}く日本^{にほん}に住^すむ人は、住民登録をしなければなりません。でも観光^{かんこう}（日本^{にほん}へ遊び^{あそ}び）に^き来た人^{ひと}は住民登録を^ししません。

1. どん^{しやくしょ}なとき、市役所^{とどけ}に*届^だを出さなければなりませんか。

下^{した}の表^{ひょう}の①～④のときは、市役所^{しやくしょ}に*届^{とどけ}を出さなければなりません。

届^{とどけ}は、あなたが^だ出します。でも、あなたが^かできないときは、代わり^かの人が^{ひと}出^だすこともできます。代わり^かの人が^{ひと}届^だを出すときは、委任状^{いにんじょう}（あなたが^か代わり^{ひと}の人に^{ねが}お願いしたことが^{わかる}紙^{かみ}）を^も持^もってきてください。

*届^{とどけ}：市役所^{しやくしょ}にあなたの^{じょうきよう}状況^{じょうきよう}が^{かわ}ったことを^{かみ}紙^かに^し書いて^し知らせること

【市役所^{しやくしょ}の市民課^{しみんか}で届^{とどけ}が^{ひつよう}必要な^{とき}】

じょうきよう 状況	とどけ 届の名前	いつまでに	も 持ってくるもの
① べつ ^{べつ} の ^し 市 ^{まち} や ^{まち} 町 ^{まち} から ^{まち} く ^{くる} めし ^{めし} 市 ^し に ^ひ 引 ^ひ っ越 ^こ したとき	てんにゅうとどけ 転 ^{てん} 入 ^{にゅう} 届	く ^{くる} めし ^{めし} 市 ^し に ^{きた} 来 ^ひ た日 ^ひ から ^{にち} 14日 ^{あいだ} の間	・ 転 ^{てん} 出 ^{しゅつ} 証 ^{しょう} 明 ^{めい} 書 ^{しよ} （前 ^{まえ} に ^す 住 ^す んでいた ところの ^{しやくしょ} 市役所 ^{しやくしょ} から ^{もら} います） ・ か ^{まい} マイナ ^{なん} ンバ ^ー カ ^ー ド ・ ざいりゅうか ^ー ド ・ とくべつえいじゅうしゃ ^{しやうめいしよ} 特別永住者証 ^{しょうめいしよ} 明 ^{めい} 書 ^{しよ}
② く ^{くる} めし ^{めし} 市 ^し の中 ^{なか} で ^{なか} 引 ^ひ っ越 ^こ したとき	てんきよとどけ 転 ^{てん} 居 ^{きよ} 届	ひ ^ひ っ越 ^こ した日 ^ひ から 14日 ^{にち} の間 ^{あいだ}	・ ざいりゅうか ^ー ド ・ とくべつえいじゅうしゃ ^{しやうめいしよ} 特別永住者証 ^{しょうめいしよ} 明 ^{めい} 書 ^{しよ} ・ か ^{まい} マイナ ^{なん} ンバ ^ー カ ^ー ド
③ く ^{くる} めし ^{めし} 市 ^し から ^{ほか} 他の ^{ほか} 市 ^し や ^{まち} 町 ^{まち} に ^ひ 引 ^ひ っ越 ^こ すとき	てんしゅつとどけ 転 ^{てん} 出 ^{しゅつ} 届	ひ ^ひ っ越 ^こ す日 ^ひ の 14日 ^{にち} 前 ^{まえ} から 14日 ^{にち} 後 ^{あと} まで	・ ざいりゅうか ^ー ド ・ とくべつえいじゅうしゃ ^{しやうめいしよ} 特別永住者証 ^{しょうめいしよ} 明 ^{めい} 書 ^{しよ} ・ か ^{まい} マイナ ^{なん} ンバ ^ー カ ^ー ド
④ いっしょに ^す 住 ^す む ^か 家 ^か 族 ^{ぞく} や ^{かぞく} 家族 ^{せたい} の ^{せたい} 世帯 ^{せたい} 主 ^{ぬし} が ^{かわ} ったとき	せたい 世帯 ^{せたい} へんこうとどけ 変 ^{へん} 更 ^{こう} 届	かわったときから 14日 ^{にち} の間 ^{あいだ}	・ ざいりゅうか ^ー ド ・ とくべつえいじゅうしゃ ^{しやうめいしよ} 特別永住者証 ^{しょうめいしよ} 明 ^{めい} 書 ^{しよ}

2. マイナンバー制度

日本^{にほん}で^{じゅうみんとうろく}住民登録^{じゅうみんとうろく}を^{ひと}している^{ひと}人は、その人^{ひと}だけの^{ばんごう}番号^{まいなんばん}＜マイナンバー＞が^{あり}ます。
外国人^{がいこくじん}も、^{じゅうみんとうろく}住民登録^{じゅうみんとうろく}を^{まいなんばん}すると^{まいなんばん}マイナンバー^{ばんごう}が^{でき}ます。^{ばんごう}番号^{ばんごう}は、^{すうじ}12個^{すうじ}の^{すうじ}数字^{すうじ}です。
^{まいなんばん}マイナンバー^{しやくしょ}は^{しやくしょ}市役所^{しやくしょ}などで^{てつづ}いろいろな^{てつづ}手続^{てつづ}きを^{つか}するときに^{つか}使^{つか}います。

* 社会^{しゃかい}保^ほ障^{しょう}や、税^{ぜい}金^{きん}の書^{しよ}類^{るい}を出^だすときも使^{つか}います。はじめに日本^{にほん}に来^きた人^{ひと}は、市役所^{しやくしよ}で転^{てん}入^{にゅう}届^{とけ}を出^だした後^{あと}に、郵^{ゆう}便^{びん}でマイナ^{まい}ンバ^{なん}ーの^{ばー}お知^しらせが来^きます。希^き望^{ぼう}する人^{ひと}は、写^{しゃ}真^{しん}付^つきの^{まい}マイナ^{なん}ンバ^ーカ^ードを^{もう}申^こし込^こむことが^{まい}で^{まい}可^{なん}い^ばーカ^ードは^み身^み分^{ぶん}証^{しょう}書^{しよ}として^{りよう}利用^{りよう}できるほ^{じゅう}か、住^{じゅう}民^{みん}票^{ひょう}などの^{しょう}証^{めい}明^{しよ}書^{しよ}を^{こん}コ^んビ^にニで^{しゅ}取^{とく}得^{とく}するこ^とも^で可^きい^{ます}。

* 社会^{しゃかい}保^ほ障^{しょう}：あな^たが毎^{まい}日^{にち}の^{せい}生^{かつ}活^くで^こ困^まったとき^に、^{くに}国^こなど^がが^{たす}助^すける^{せい}制^ど度^どです。

3. 住^{じゅう}民^{みん}票^{ひょう}の写^{うつ}し(コ^こピ^ーー)について

住^{じゅう}民^{みん}票^{ひょう}は、「あな^たが^{その}場^ば所^{しよ}に^す住^すんでい^るこ^とを^{しやく}市^{しよ}役^{やく}所^{しよ}が^{しょう}証^{めい}明^{しよ}するもの」です。

住^{じゅう}民^{みん}票^{ひょう}には、「名^な前^{まえ}」、「誕^{たん}生^{じょう}日^び」、「住^{じゅう}所^{しよ}」、「久^く留^{るめ}米^し市^ひに^ひ引^こっ越^こした日^ひ」、「一^{いっ}緒^{しよ}に^す住^すんでい^る人^{ひと}」などが^か書^かいてあ^りま^す。そ^れが^か紙^かに^なったのが、「住^{じゅう}民^{みん}票^{ひょう}の写^{うつ}し」で^す。あな^たが^{ひつ}必^{よう}要^{やう}なとき^に、市^{しやく}役^{やく}所^{しよ}から^{もら}うこ^とが^で可^きい^{ます}。もら^うときは、お金^{かね}が^いり^ます。

4. 在^{ざい}留^{りゅう}カ^ードな^どについて

在^{ざい}留^{りゅう}カ^ードは、あな^たが日本^{にほん}に^いる^{もく}目^{てき}的^{てき}と、^いるこ^とが^で可^きい^{ます}期^き限^{げん}(いつ^まで)を^{しょう}証^{めい}明^{しよ}(ほ^かの^{ひと}に^わか^るよ^うに)する^かカ^ード^です。^{ざい}在^{りゅう}留^{りゅう}資^し格^{かく}で^{にほん}日本^{にほん}で^で可^きい^{ます}こ^とが^き決^たま^りま^す。例^れえ^ば、^{しかく}資^し格^{かく}が、「留^{りゅう}学^{がく}」だ^と勉^{べん}強^{きやう}が^で可^きい^{ます}。「就^{しゅう}労^{ろう}」は^{はたら}働^{はたら}くこ^とが^で可^きい^{ます}。^{ざい}在^{りゅう}留^{りゅう}カ^ード^は、^{かな}必^もず^も持^もっ^てい^なけ^れば^なり^ませ^ん。

① 特^{とく}別^{べつ}永^{えい}住^{じゅう}者^{しや}証^{しょう}明^{めい}書^{しよ}

新^{あた}し^らい^{とく}特^{とく}別^{べつ}永^{えい}住^{じゅう}者^{しや}証^{しょう}明^{めい}書^{しよ}を^{つく}作^{つく}るとき^は、市^{しやく}役^{やく}所^{しよ}で^しし^ます。わ^から^ない^ときは、市^{しやく}役^{やく}所^{しよ}に^{そう}相^{だん}談^{だん}して^くだ^さい。

② 在^{ざい}留^{りゅう}カ^ード

期^き限^{げん}(いつ^まで)を^{すぎ}た^{ざい}在^{りゅう}留^{りゅう}カ^ード^で、市^{しやく}役^{やく}所^{しよ}な^どの^て手^て続^{つづ}きは^あで^きま^せん。^{あた}新^{あた}し^らい^{ざい}在^{りゅう}留^{りゅう}カ^ード^を作^{つく}るとき^は、^{ふく}福^{おか}岡^{おか}出^{しゅ}入^つ国^{こく}在^{ざい}留^{りゅう}管^{かん}理^り局^{きょく}へ^い行^いっ^てく^ださ^い。

■ 福^{ふく}岡^{おか}出^{しゅ}入^つ国^{こく}在^{ざい}留^{りゅう}管^{かん}理^り局^{きょく}

〒810-0073 福^{ふく}岡^{おか}県^{けん} 福^{ふく}岡^{おか}市^し 中^{ちゅう}央^{おう}区^く 舞^{まい}鶴^{づる} 3-5-25 TEL : 092-717-5420
福^{ふく}岡^{おか}第^{だい}1^{ほう}法^{ほう}務^む総^{そう}合^{ごう}庁^{ちやう}舎^{しゃ}



3. 税金について

市民税課 TEL:0942-30-9008、資産税課 TEL:0942-30-9010

税収納推進課 TEL:0942-30-9007

1年より長く日本に住んでいる人は、外国人も税金を払います。
集めた税金は、日本に住んでいる人が安心して暮らすことができるように使います。
税金は、国に払うお金と地方(県や市)に払うお金があります。あなたが、税金を決まった日までに払わないときは、「延滞金」というお金も払うことになります。

1. 国に払う税金

前の年の1月1日から12月31日までに*所得がある人は、国に「*所得税」を払います。所得税は、働いた年の次の年の2月16日から3月15日の間にあなたが計算して払います。いくら払うかわからないときや払う方法は、税務署に相談してください。会社から*給料をもらっている人は会社が毎月の給料から先に払います。

*所得：働いて会社などからもらったお金から、そのお金をもらうためにかかったお金をひいたあとのお金のことです。

*所得税：所得にかかる税金です。

*給料：会社などからもらうお金です。

■国に払う税金を相談するとき

久留米 税務署

〒830-8688 久留米市 諏訪野町 2401 の10 TEL:0942-32-4461

2. 地方(県や市)に払う税金

その年の1月1日に日本に住んでいる人は、住んでいる県や市に税金を払います。

住民税(税金の名前)や自動車税(税金の名前)といいます。

国や地方に払う税金は、あなたの前の年の所得などで計算します。

2-①福岡県に払う税金

【県に払う主な税金】

税金の名前	払う人	相談するところ
県民税	福岡県に住んでいる人	久留米 県税 事務所 課税第一課
自動車税	福岡県に住んでいて、普通自動車を持っている人	久留米 県税 事務所 収税第二課

■福岡県の税金を相談するとき

久留米 県税 事務所 (久留米 総合庁舎 4階)

〒839-0861 久留米市 合川町 1642番地の1 TEL:0942-30-1012

2-②^{くるめし}久留米市に ^{はら}払う ^{ぜいきん}税金

【^{くるめし}久留米市に ^{はら}払う ^{おも}主な ^{ぜいきん}税金】

^{ぜいきん} 税金の名前 ^{なまえ}	^{はら} 払う人 ^{ひと}	^{そうだん} 相談するところ
^{しみんぜい} 市民税	^{くるめし} 久留米市に ^す 住んでいる人 ^{ひと}	^{くるめし} 久留米市役所 ^{しみんぜいか} 市民税課
^{けいじどうしゃぜい} 軽自動車税	^{くるめし} 久留米市に ^す 住んで ^{けいじどうしゃ} 軽自動車や ^{ばい} バイクを ^も 持っている人 ^{ひと}	^{くるめし} 久留米市役所 ^{しみんぜいか} 市民税課
^{こていしさんぜい} 固定資産税	^{くるめし} 久留米市に ^す 住んで ^{とち} 土地や ^{たてもの} 建物を ^も 持っている人 ^{ひと}	^{くるめし} 久留米市役所 ^{しさんぜいか} 資産税課

3. ^{しんこく}申告

^{まえ}前の ^{とし}年に ^{はたら}働いて ^{かいしゃ}会社から ^{いくら}いくら ^{かね}お金を ^{もら}もらったかや、^{あなた}あなたが ^も持っている ^{いえ}家・^{とち}土地・^{くるま}車 のことについて ^{しよるい}書類を ^か書いて、^{ぜいむしよ}税務署や ^{しやくしよ}市役所に ^だ出します。これを、「^{しんこく}申告」といいます。^{しんこく}申告を ^{する}すると、^{あなた}あなたが ^{くに}国や ^{ちほう}地方に ^{はら}払う ^{ぜいきん}税金が ^{いくら}いくらか ^き決まります。

4. ^{ぜいきん}税金を ^{はら}払う

^{あなた}あなたが ^{はら}払う ^{ぜいきん}税金は、^{けんぜいむしよ}県税事務所や ^{しやくしよ}市役所が ^{けいさん}計算します。^{ゆうびん}郵便で「^{のうぜいつうちしよ}*納税通知書」が ^き来ます。^{ぜいきん}税金は ^{きま}決まった ^ひ日までに ^{はら}払ってください。^{ぜいきん}税金は、^{いっしょ}一緒に ^{はい}入っている「^{のうふしよ}*納付書」を ^{つか}使って ^{ぎんこう}銀行・^{ゆうびんきょく}郵便局・^{こんびに}コンビニで ^{はら}払ってください。

- *^{のうぜいつうちしよ}納税通知書：^{あなた}あなたが「^{どれだけ}どれだけの ^{かね}お金を」「^{いつまでに}いつまでに」「^{どこで}どこで ^{はら}払うか」など、^き決まったことを知らせる ^{けん}県や ^{しやくしよ}市役所からの ^{てがみ}手紙です。
- *^{のうふしよ}納付書：^{あなた}あなたが「^{いつまでに}いつまでに」「^{いくら}いくら ^{はら}払うか」を ^{かみ}書いた ^紙紙です。

5. ^{のうぜいしやうめいしよ}納税証明書と ^{しよとくしやうめいしよ}所得証明書

^{のうぜいしやうめいしよ}納税証明書は、「^{あなた}あなたが ^{いくら}いくら ^{ぜいきん}税金を ^{はら}払ったか」を ^{しやくしよ}市役所が ^{しやうめい}証明（^{ほか}他の人 ^{ひと}に ^{わか}わかるように）する ^{しよるい}書類です。^{しよとくしやうめいしよ}所得証明書は、「^{あなた}あなたが ^{いくら}いくら ^{かね}お金を ^{もら}もらったか」を ^{しやくしよ}市役所が ^{しやうめい}証明する ^{しよるい}書類です。^{とし}その年の ^{がつ}1月1日に ^す住んでいた ^{ところ}ところの ^{しやくしよ}市役所で ^{もら}もらえます。^{かね}お金が ^いいります。^{ざいりゅうしかく}在留資格を ^か変えるときや、^し市の ^{さーびす}サービスを ^う受けるときに ^{ひつよう}必要です。

6. ^{ぜいきん}税金が ^{はら}払えないとき

^{あなた}あなたが、^{しごと}仕事がないときや、^{ぜいきん}税金を ^{はら}払う ^{かね}お金がないときなどは、^{のうふそうだん}納付相談（「^{ぜいきん}税金を ^{おそ}遅く ^{はら}払うことが ^{でき}できますか」とか「^{かね}お金を ^わ分けて ^{はら}払うことが ^{でき}できますか」と ^{ぜいむしよ}税務署や ^{しやくしよ}市役所などに ^{きく}きくこと）を ^しします。^{ぜいきん}税金を ^{はら}払わないときは、^{けん}県や ^し市の ^{さーびす}サービスを ^う受けることが ^{でき}できません。^{ざいりゅうしかく}在留資格を ^{あた}新しく ^{する}するときに ^{こま}困ることが ^ああります。^{ふくおかけん}福岡県に ^{はら}払う ^{ぜいきん}税金は、^{ふくおかけんぜいむしよ}福岡県税事務所に ^{そうだん}相談してください。^{くるめし}久留米市に ^{はら}払う ^{ぜいきん}税金は、^{ぜいしゅうのうすいしんか}税収納推進課に ^{そうだん}相談してください。

7. ^{じぶん}あなたが ^{くに}自分の ^{かえ}国に ^{かえ}帰るとき

^{あなた}あなたが ^{じぶん}自分の ^{くに}国に ^{かえ}帰るときや、^{がいこく}外国に ^い行って ^{にほん}日本に ^{もど}戻ってこないときは、^{にほん}日本を ^で出る ^{まえ}前に ^{ぜいきん}税金を ^{ぜんぶ}全部 ^{はら}払わなければなりません。^{ぜんぶ}全部 ^{はら}払えないときは、^{にほん}日本を ^で出る ^{まえ}前に ^{あなた}あなたの代わり ^{はら}払う人 ^きを決めて、^{ぜいむしよ}税務署や ^{しやくしよ}市役所に ^{とどけ}届 ^だを出さなければなりません。



4. ねんきん 年金について

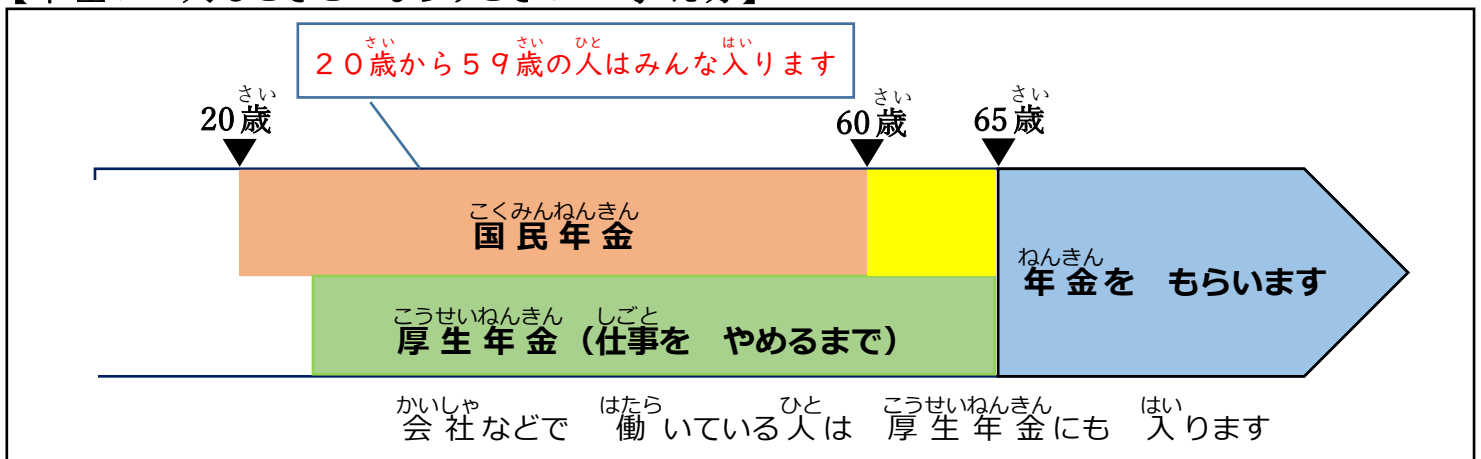
いりよう ねんきんか
医療・年金課 TEL: 0942-30-9032

日本では、年をとったときや 病気や けがで 働けなくなったときの ために お金を 払います。この制度を 年金と いいます。年金に 入り、お金を 払うと、年をとったときや、病気や けがで 働くことが できなくなったときなどに 生活のための お金を もらいます。日本に 住んでいる 20歳から 59歳の人 は みんな 年金に 入ります。

1. ねんきん 年金について

日本の 年金は 2つ あります。国民年金と 厚生年金です。厚生年金は、会社や工場などで 働いている人が 入ります。国民年金は、厚生年金に 入っていない人が 入ります。

【年金に 入るときと もらうときの 考え方】



2. こくみんねんきん 国民年金について

日本に 住んでいる 20歳から 59歳の 人は、みんな 国民年金に 入ります。外国人も 入ります。年金に入るとき、市役所や、年金事務所で 手続きを します。在留カードやマイナンバーカードを もって いきます。働いている人で 会社の 保険に 入っている人は、会社が 手続きを します。

■ こくみんねんきん 国民年金に 払う お金 (あなたが いくら 払うか) と 払う 方法

年金を いくら 払うかは、国が 決めます。決まったら、*「納付通知書」が 郵便で 来ます。お金は、銀行・郵便局・コンビニで 払ってください。生活の お金が 少なくて 困っている人は、年金の お金を 払わなくても いいときが あります。市役所や 年金事務所に 相談してください。

*納付通知書：あなたが お金を いくら いつまでに 払うかなどを 知らせる 手紙

■ こくみんねんきん 国民年金を もらうとき

国民年金は、もらう お金に 表の ①~③の 種類が あります。どの 年金が もらえるかや、申し込みの 方法は、住んでいるところの 市役所や、年金事務所に 聞いてください。

【国民年金の主な種類】

ねんきんの種類	説明	どんな人がもらえるか
① 老齢基礎年金	65歳から お金 が もらえます。 65歳のときに、日本に 住んで いないときも もらえます。	国民年金の お金 を 10年以上 払 った 人が もらうことができます。
② 障害基礎年金	病気や けがのあとで 障 が い 者 に なった 人が もらえます。	その 病 気 や け が を 初 め て 医 者 に 診 て も ら っ た 日 が 65歳 に な る 前 だ っ た 人 が も ら う こ と が で き ま す 。
③ 遺族基礎年金	年金に 入 っ て い た 人 が 亡 く な ったとき、 家 族 が も ら え ま す 。	・ 亡 く な っ た 人 の 夫 か 妻 か 子 ど も ・ 亡 く な っ た 人 が 家 族 の た め に 生 活 の ほ と ん ど の お 金 を 出 し て い た と き に も ら う こ と が で き ま す 。

■ 脱退一時金（国に 帰るとき もらうことができる お金）

国民年金に 入 っ て い た 人 が、 国民年金を やめ て 国に 帰るとき、 脱退一時金 という お
金 を も ら う こ と が で き ま す 。

国に 帰 っ て か ら、 2年以内に 日本年金機構に 請 求 書（お金 を も ら う た め の 申 し 込 み の
紙）な ど を 郵 便 で 送 っ て く だ さ い。 も ら う た め の 条 件（ど ん な 人 が も ら え る か）が あ り ま す。
日本年金機構に 聞 い て く だ さ い。

■ 日本年金機構（Japan Pension Service）

年金について、やさしい日本語で、くわしく説明しています。

<https://www.nenkin.go.jp/oshirase/taisetu/2024/202403/032602.html>



3. 厚生年金について

会社や 工場、 店などで 決まった 時間より 長く 仕事を して いて、 70歳 にな っ て い な い
人 が 入 り ま す 。

■ 厚生年金に 入る 方法

入 る と き の 手 続 き は、 会 社 が し ま す。 あ な た は、 し な く て い い で す 。

■ 厚生年金に 払う お金（あなたが いくら 払うか）と 払う 方法について

厚生年金に 払う お金 は、 あ な た が 会 社 か ら も ら う 毎 月 の 給 料 で 決 ま り ま す。 年
金 に 払 う お 金 の 半 分 は、 毎 月 の あ な た の 給 料 か ら 払 い ま す。 残 り の 半 分 は、 会 社 が
払 い ま す。 あ な た が 払 う お 金 と、 会 社 が 払 う お 金 を、 い っ し ょ に し て 会 社 が 払 い ま
す 。

■ 仕事を やめたとき

仕事を やめたときは、 厚生年金も やめます。 やめたら、 あな た が 国民年金に 入る 手続
き を し ま す。 会 社 か ら 厚生年金を やめた 証 明 を も ら っ て、 在 留 カ ー ド を 持 っ て 市 役
所 や 年 金 事 務 所 で 手 続 き を し ま す 。



けんこうほけん かいごほけん 5. 健康保険・介護保険について

けんこうほけんか
健康保険課

かいごほけんか
介護保険課

TEL: 0942-30-9029、

TEL: 0942-30-9205

1. 健康保険について

日本に住む人は、みんな健康保険に入ります。在留カードを持って、住民登録をしている人は入らなければなりません。あなたが健康保険に入るかどうかを決めることはできません。健康保険に入ると、保険証（保険に入っていることがわかるカード）をもらいます。病気やけがで病院に行くときは、病院の人に保険証を見せてください。病院に払うお金が安くなります。

日本の健康保険は2つあります。会社の健康保険と市や町の国民健康保険です。

2-① 健康保険（会社の保険）

■健康保険に入る人

会社で働いている人は、会社の健康保険に入ります。入ることができるかどうかは、会社の人に聞いてください。健康保険に入っている人の日本に住んでいる家族も、健康保険に入ることができます。家族が健康保険に入ることができるかどうかは、会社の人に聞いてください。

■入る方法

会社が手続きをします。

■保険料（健康保険に払うお金）

保険料は、あなたが会社からもらう給料で決まります。あなたの給料から、保険料の半分会払います。残りの半分は、会社が払います。

■仕事をやめたとき

仕事をやめたときは、健康保険もやめなければなりません。国民健康保険に入る届も、あなたがしなければなりません。まず会社から健康保険をやめた証明書もらいます。それから、証明書と在留カードを持って行って市役所に届を出してください。

2-② 国民健康保険（市や町の保険）

■国民健康保険に入る人

住民登録をしている人で、会社の保険に入っていない人が入らなければなりません。

■入る方法

在留カード、パスポート、マイナンバーカードまたは通知カードを持って行って市役所に届を出してください。「特定活動」の資格の人は、指定書も持って行ってください。

■保険料（国民健康保険に払うお金）と払う方法

保険料は、あなたの前の年の所得や家族の人数で決まります。

毎年6月ごろに保険料のお知らせが市役所から郵便で来ます。

一緒に入っている納付書を使って払ってください。銀行・郵便局・コンビニなどで払うことができます。困ったときは、市役所に相談してください。

3. 医療費（病院に払うお金）がとても高くなったとき

あなたが1か月間に病院に払うお金が、決まった額よりも多く払ったときは、後からお金が返ってきます。いくら返ってくるかは、あなたやいっしょに住んでいる家族の所得で決めています。これは「高額療養費制度」と言います。

お金が返ってくるかどうかは、会社の健康保険に入っている人は、会社の人に相談してください。国民健康保険に入っている人は、市役所に相談してください。

病院に入院するときなど、たくさんのお金が有的时候は、*限度額認定証をもらうこともできます。限度額認定証が有的时候は、会社の人や市役所に相談をしてください。

*限度額認定証：この紙があったら、病院に決まった金額までしか払わなくてよくなります。毎月保険証といっしょに病院に見せてください。

4. 健康保険からもらうお金

■出産育児一時金

健康保険に入っている人が出産（子どもを産むこと）をしたときにもらうお金です。

■葬祭費

健康保険に入っている人が死んだとき、その人の葬式をした人がもらうお金です。

5. 介護保険について

介護保険に入っている人は、年をとったり、特別な病気になったりして*介護が必要なときは、サービスを受けることができます。

*介護：ご飯を食べることやお風呂に入ることなど自分で毎日の生活をするのが難しいときに、ほかの人が手伝うことです。

■介護保険に入る人

40歳以上で医療保険に入っている人は、みんな介護保険に入らなければなりません。

■介護保険のお金を払う方法

40歳から64歳までの人は、医療保険のお金と一緒に払います。

65歳以上の人は、市役所に保険料を払います。保険料は、あなたの前の年の所得や家族の所得状況などで決まります。

毎年6月ごろに保険料のお知らせが市役所から郵便で来ます。

一緒に入っている納付書を使って払ってください。銀行・郵便局・コンビニなどで払うことができます。また、もらう年金のお金から払う人もいます。

■介護保険のサービスを受ける 人

介護保険のサービスを受けるのは、65歳以上の 人 です。

40歳から 64歳までの 人は、特別な 病気に なったときに、サービスを 受けます。

■介護保険のサービスを受ける 方法

介護が 必要だと 思ったら、まず 市役所に 行って 相談してください。市役所から 専門の 人が 家に 来て、どのくらい 介護が 必要かを 調べます。介護が 必要だと 決まったら、どんな 介護サービスを 受けるかを 決めます。介護サービスを 決めるときは、ケアマネージャー（サービスを 受けるために 必要な 計画を 立てたり、どんな サービスが あるかを 調べたり してくれる 専門の 人）に 相談してください。



6. 子どもについて

こども子育てサポートセンター TEL: 0942-30-9302

保健予防課 TEL: 0942-30-9730 学校教育課 TEL: 0942-30-9217

子ども保育課 TEL: 0942-30-9025 学校保健課 TEL: 0942-30-9273

妊娠したときや、赤ちゃんが生まれたとき、子どもを育てるときにわからないときや、困ったときは、いろいろなことを市役所で聞くことができます。お金のことも相談することができます。

●子どもが生まれるまえにすること

1. 妊娠届（おなかに赤ちゃんができたことを市役所に知らせること）

妊娠したときは、市役所に妊娠届を出します。市役所で「*親子(母子)健康手帳」をもらいます。ほかに、「*妊婦健康診査補助券受診票」、「*新生児聴覚検査受診票」、「*産婦健康診査受診票」、「*出生連絡票」、「*マタニティ教室案内」をもらいます。

*親子(母子)健康手帳：お母さんと子どもの体のこと、子どもが生まれたときのこと、健康診査の結果や予防注射など子どものことを書きます。

*妊婦健康診査受診票：病院でお母さんと赤ちゃんが元気かどうかを調べます。病院で使います。検査は、14回します。

*新生児聴覚検査受診票：赤ちゃんの耳が聞こえるかを病院で調べます。病院で使います。

*産婦健康診査受診票：赤ちゃんが生まれたあと、お母さんと赤ちゃんの体が元気かどうかを調べます。病院で使います。検査は、2回します。

*出生連絡票：赤ちゃんが生まれたことを市役所に教えるときに使います。

*マタニティ教室：お母さんやお父さんになる人やその家族が、妊娠している時や赤ちゃんを産む時、赤ちゃんを育てる時に大切なことを勉強します。

2. 妊婦健康診査（健診）

妊娠したら、病院へ行ってお母さんとおなかの中の赤ちゃんの体を調べます。

病院に行くときは、市役所からもらった「妊婦健康診査受診票」を持っていきます。検査は、全部で14回できます。市役所が決めた検査を受けるときは、お金はいりません。

●子どもが生まれたらすること

3. 出生届（赤ちゃんが生まれたことを市役所に知らせること）

赤ちゃんが生まれた日から、14日以内に市役所に出生届を出します。お父さん、お母さんが外国人でも出します。お父さん、お母さんが結婚していることがわかる証明書とパスポートを持ってきてください。分からない時は市民課に聞いてください。お父さんとお母さんがどちらも外国人のときで、生まれた子どもが60日より長く日本にいます。

は、子どもの「在留資格」(日本に住むことができる資格)をとります。子どもが生まれた日から30日以内に入国管理局に行きます。入国管理局に出す書類は、入国管理局に聞いてください。

4. 子ども健康診査

生まれた赤ちゃんが元気かどうか、ときどき病院の医者が診めます。お母さんは、赤ちゃんのことで心配なことや、わからないことを相談することができます。お知らせの手紙が市役所から郵便で来ます。お金はいりません。

検査の名前	子どもの年	知っておくこと
乳幼児健康診査	・4か月 ・10か月 ・1歳6か月 ・3歳	・久留米市が決めた病院か、手紙に書いてあるところで受けます。 ・手紙に入っている「健康診査受診票」を書いて、おやこ(母子)健康手帳と一緒に持っていきます。 ・1歳6か月と3歳のときは、子どもの歯が悪くありませんか診めます。

5. 予防注射

日本では、子どもは生まれると、いくつかの大きな病気にかからないように注射をします。これを「予防注射」といいます。「予防注射」をすると、病気になっても病気は軽くなります。予防注射は、市役所が決めた病院でします。予防注射をするときは、「親子(母子)健康手帳」を持っていきます。お金はいりません。

●子どもを育てるときにもらえるお金や助ける制度

6. 児童手当(子どもを育てるためのお金)

子どもを育てている人は申し込みをして市役所から児童手当(お金)をもらいます。子どもが、2歳までは毎月15,000円もらいます。3歳から15歳までは毎月10,000円もらいます。

7. 子ども医療制度(子どもが病院に行くときのお金を助ける制度)

0歳から15歳までの子どもが病院に行くときは、病院に払うお金が安くなります。制度を使うときは、特別な証明書がいらします。証明書は、市役所でもらいます。市役所に相談してください。

■保育所・幼稚園

小学校に行く前の子どもを預けることができます。お父さんやお母さんの代わりに子どもの世話をしたり、勉強を教えたりします。行くところは、お父さんやお母さんがよく考えて選びます。

8-① 保育所（保育園）

保育所（保育園）は、お父さんやお母さんが働いているなど、家で子どもの世話ができないときに子どもを預かります。0歳から小学校に行く前の子どもを預けることができます。

8-② 幼稚園

幼稚園は、遊びをしながら生活や勉強をするところです。3歳から小学校に行く前の子どもが行きます。

日本の学校

日本では、4月1日に6歳の子どもが小学校に入ります。子どもは、小学校に6年行きます。そのあと、中学校に3年行きます。日本人の6歳から15歳の子どもを持つ親は、子どもを学校に通わせなければなりません。これを、義務教育と言います。小学校・中学校の授業と教科書は、お金はいりません。久留米市では、住民登録をすると、外国人も日本の小学校や中学校に行くことができます。わからないときは、市役所の学校教育課に聞いてください。

【子どもの年と学校の関係】

年齢	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
学校	小学校						中学校			高校		
学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生
義務教育												

●就学援助制度（子どもが学校に行くときのお金を助ける制度）

あなたの子どもが、久留米市の小学校や中学校に行くためのお金が足りないときは、お金を助ける制度があります。「就学援助」といいます。このお金は、子どもが学校で使う物（制服・文具）や、学校で食べる給食（ごはん）などに使います。就学援助を受け取りたいときは、市役所の学校保健課や学校で、申し込みの紙を書いて、必要な書類と一緒に出します。わからないときは学校の事務の人や市役所の学校保健課に聞いてください。

「就学援助」をもらうことができる人
⇒収入（給料などの生活するためのお金）が少ない人など



だ かた

7. ごみの出し方について

しげんじゅんかんすいしんか

資源循環推進課 TEL:0942-37-3342

家から出るごみは、「燃やせるごみ(燃やすことができるごみ)」「燃やせないごみ」「資源物など」に分けて、「専用の袋」で「決まった場所」に「決まった日」の「決まった時間まで」に出してください。あなたが住んでいる校区で、ごみを出す日や決まりが違います。

あなたがごみを出すときは、住んでいるところの決まりを守ってください。わからないときは、市役所の資源循環推進課に聞いてください。

■燃やせるごみ(燃やすことができるごみ)

久留米市の指定袋(ごみを入れるための専用の袋)に入れて燃やせるごみの日に出します。指定袋(ごみを入れるための専用の袋)は市内のスーパーやコンビニなどで買えます。

・ごみの種類(主なもの)

生ごみ(食べ物のごみ)、紙おむつ、ゴムでできたもの(靴、ボールなど)、プラスチック類(おもちゃ、バケツなど)、布(汚れた洋服や、ぬいぐるみなど) 草花・落ち葉 など
※生ごみは、よく絞って水をだしてから捨てます。

■燃やせないごみ(燃やすことができないごみ)

久留米市の指定袋(ごみを入れるための専用の袋)に入れて出します。資源物などの日にだします。指定袋(ごみを入れるための専用の袋)は市内のスーパーやコンビニなどで買えます。

・ごみの種類(主なもの)

ガラスコップ、陶器(お皿や茶碗、植木鉢など) アルミ箔、化粧品のビン、包丁、はさみ、電球、油でよごれたビンやカン など
※割れたガラスなどはあぶないので、紙などで包んで出します。

■資源物など

資源物などの日にだします。資源物を出す場所に ある箱に入れます。きれいに洗ってから出します。

・ごみの種類(主なもの)

ペットボトル、飲み物や食べ物が入っていたビンやカン、小金属(フライパン、スプーンやフォーク、スプレー缶など)、小型家電(携帯電話、ドライヤー、ヘアアイロンなど)、容器包装プラスチック(ボトル類、トレイ類など「プラマーク」が付いたもの) 古紙(段ボール、本など)、古着(古い洋服など)

■粗大ごみ(指定袋に入らない大きなごみ)

粗大ごみを出すときは、粗大ごみ受付コールセンター(TEL:0942-37-3383)に電話してください。次に「ごみステッカー」を銀行などで買ってください。出すごみにステッカーを貼って決まった場所にだしてください。

・ごみの種類（主なもの）

電子レンジ、タンス、ソファ、自転車、布団、ベッドなど

■決まった場所に 出せない ごみ

エアコンや、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、パソコンなどは、出すことができません。

・エアコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、パソコン

⇒買った お店に 連絡して 聞いてください。

■ごみの 出し方を もっと 知りたい ときは アプリを 使います。

あなたが 住んでいる ところの 校区の 名前を いれます。ゴミの 出し方が 詳しく わかります。

①右のQRコードをよみます。

または、下の URL を 入れます。

<http://kurume.5374.jp/>

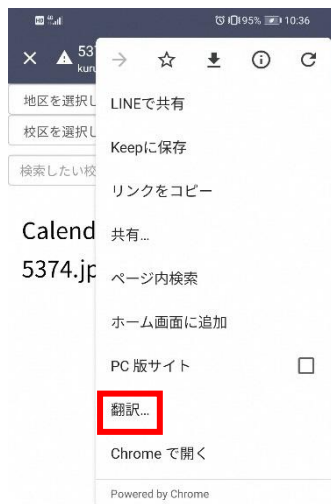


②アプリの 画面が できます。

画面の 右上の 「:」 を 押します。

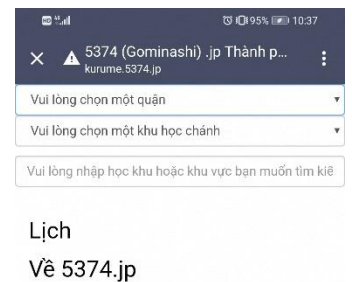


③「翻訳」を
えら
びます。



④あなたの 国の
言葉に 変わります。

ほかの 言葉に 変える
ときは、右下の 「:」 を
お
押します。





すいどう りょう 8. 水道の利用について

じょうげすいどうりょうきんせんたー
上下水道料金センター TEL: 0942-30-8512

すいどう 水道を つかうときや、 つかうのを やめるときは、 じょうげすいどう りょうきんせんたー 連絡します。
あなたが 水を 使ったら、 決まった日までに お金を 払わなければなりません。

■すいどう 水道を 初めて つかうとき

じょうげすいどうりょうきんせんたー 連絡しなければなりません。 ふたつの 方法が あります。 一つは、
じょうげすいどうりょうきんせんたーに 行って 知らせます。 もう一つは、 電話や インターネットで 使う日
を 連絡します。 すいどう 水道を 使いたい日の 4日前までに 連絡します。 連絡 しないで すいどう 水道を 使
うと、 水が 出なくなります。 連絡しないで 使った 水の 料金も あなたは 払わなければ なら
ません。 必ず 連絡してください。



いんたーねっと りょうきんせんたー
・インターネットの連絡先

<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2090suidougasu/3120moushikomi/01.html>

■りょうきん 料金(水道を 使った お金)の 支払い

すいどう 水道を 使ったら、 お金を 払います。 お金は、 2か月分 いっしょに 払います。
のうふしよ (いつまでに いくら 払うかを 書いた 紙)を 使って、 銀行・郵便局・コンビニで 払
います。

決まった日までに あなたが お金を 払うことが できないときは、 支払いの 相談を することが
できます。 じょうげすいどうりょうきんせんたーの 人に、 「遅く 払うことが できますか」とか、 「お金を
分けて 払うことが できますか」と 聞くことが できます。 そのままに すると、 水が 出なくな
ります。

■すいどう 水道を 止めるとき

すいどう 水道を 使わなくなる 日が 決まったら、 すぐに 連絡します。

じょうげすいどうりょうきんせんたーに 行って 知らせるか、 電話や インターネットで 連絡します。



いんたーねっと りょうきんせんたー
・インターネットの連絡先

<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2090suidougasu/3120moushikomi/01.html>

■くるめし 久留米市 じょうげすいどう りょうきんせんたー (久留米市 企業局 1階)

〒839-8501 福岡県 久留米市 合川町 2190-3 TEL: 0942-30-8512



9. 災害や、避難所について

ぼうさいたいさくか
防災対策課

TEL: 0942-30-9074

日本では、*台風・*大雨・*地震が たくさん あります。 まず、自分の 体を 守ります。
あなたの 家が 安全なときは、家に います。 家が あぶないときは、避難所（みんなが 逃げる
ところ）に 行きます。 台風、大雨、地震などを 「災害」といいます。 災害が 起こる前に、
準備しておくことを 「防災」と いいます。

*台風：とても 強い 風が ふきます。 とても 強い 雨が 降ります。 強い 風がふいたら、物
が 飛びます。 木や 電信柱も 折れたり、倒れたり します。 家も 壊れることが あ
ります。

*大雨：雨が たくさん ふります。 川の 水が 増えます。 道路や 家にも 水が くることが あ
ります。 山や 家が 壊れることが あります。

*地震：地面が ゆれます。 いつ 地震がくるか、誰も わかりません。 地面が ゆれたあと、電気や
ガス、水道が 止まること があります。 家や 道が 壊れることが あります。

■自分の 体や 家族を 守るために すること

あなたは、災害が おきたときの ために、飲み物や 食べ物などを 用意 しておきます。 飲み
物や 食べ物を 買って、家に おいて おきます。 あなたが いつもの 生活で 必ず いるもの（い
つも 飲む 薬や パスポート、在留カード、洋服など）は、逃げるときに、すぐ 持っていく
ために、最初に 用意しておきます。

市役所が つくった 「ハザードマップ」で、あなたが 住んでいる ところや 働いている ところの
近くに ある あぶないところや 避難所について 調べておいてください



・Web版 ハザードマップ



・災害から 身を 守るための 避難行動

■避難所（みんなが 逃げる ところ）について

くろめし市の 避難所は、下の QRコードから 見ることができます。 避難所は、校区によって、ちがいま
すから、あなたが 住んでいる 校区を 調べてください。

災害は、いつ おこるか 誰も わかりません。 避難所は、台風のと看、大雨のと看、地震のと看
で、逃げるところが ちがいます。

あなたが 住んでいるところや 働いているところの 近くの 避難所を 調べておいてください。



・避難所一覧



10. もしものときのために 知っておくこと

■もしものとき ^{れんらく}連絡する ところです。

^{さいしょ}最初に あなたの ^{なまえ}名前と ^{でんわばんごう}電話番号を ^{おし}教えてください。

	^{でんわばんごう} 電話番号	どんなときに	^{おし} 教えること
けいさつしょ 警察署	110	こうつうじこ 交通事故のとき	①いつ どこで 事故がおきましたか。 ②どんな 事故ですか。(人と 車が ぶつりました。など) ③けがの人が いますか。
		はんざい 犯罪に あったとき	①どんな 犯罪ですか。(バッグを 盗まれました。など) ②どこで 犯罪が おきましたか。 ③あなたが 犯罪に あいましたか。
しょうぼうしょ 消防署	119	きゅう びょうき 急な 病気や けが ケガのとき	①病 気ですか。けがですか。 ②病 気やけがの人はどこにいますか。 ③病 気やけがの人はだれですか。どうしましたか。
		かじ 火事のとき	①「火事です」と 言ってください。 ②火事はどこですか。 ③火事の物は何ですか。(家や ごみなど) ④けがの人や 逃げていない人が いますか。

■物を ^{なく}失したり、 ^{ひろ}拾ったり したとき

あなたが ^{けいたいでんわ}携帯電話や ^{さいふ}財布など、 ^{もの}物を ^{なく}失くしたとき、 ^{くるめけいさつしょ}久留米警察署 (0942-38-0110) に ^{でんわ}電話してください。 ^{けいさつ}警察の ^{ひと}人が ^{でんわ}電話に ^で出たら、 ①と②を ^{おし}教えてください。

① いつ どこで なにを ^{なく}失くしましたか。

② あなたの ^{なまえ}名前と ^{でんわばんごう}電話番号は何ですか。

あなたが ^{かね}お金や ^{かばん}かばんなど ^{もの}物を ^{ひろ}拾ったときは ^{ちか}近くの ^{けいさつ}警察に ^も持って ^い行ってください。
^{けいさつ}警察の ^{ひと}人に ①と②を ^{おし}教えてください。

① いつ どこで なにを ^{ひろ}拾いましたか。

② あなたの ^{なまえ}名前と ^{でんわばんごう}電話番号は何ですか。

■自転車に ^の乗るときは ^{ほけん}保険に ^{はい}入ります。 また ^{へるめつと}ヘルメットを かぶりましょう。

^{がっこう}学校や ^{しごと}仕事に ^い行くために ^{じてんしゃ}自転車に ^の乗る人は、 ^{じてんしゃよう}自転車用の ^{ほけん}保険に ^{はい}入らなければなりません。

あなたが ^{じてんしゃ}自転車に ^の乗っていたとき、 ^{もし}もし、 ^{ひと}人と ^{ぶつかって}ぶつかって、 ^{そのひと}その人が ^{けがを}けがを ^{したら}したら、 ^{ほけん}保険

^{がいしゃ}会社が ^{かね}お金を ^{はら}払います。 あなたが ^{けがを}けがを ^{したときも}したときも、 ^{ほけんがいしゃ}保険会社が ^{びょういん}病院などの ^{かね}お金を

^{はら}払います。 ですから、 あなたが ^{じてんしゃ}自転車を ^か買った ^{みせ}お店で ^{じてんしゃ}自転車の ^{ほけん}保険の ^{そうだん}相談を ^{して}してくださ

い。 また、あなたを ^{まも}守るために ^{じてんしゃ}自転車に ^の乗るときは ^{へるめつと}ヘルメットを かぶりましょう。

このガイドブックの問い合わせは
久留米市役所 広聴・相談課 外国人相談窓口（6F）です。

TEL: 0942-30-9096

FAX: 0942-30-9711

Email: sodan@city.kurume.lg.jp